

S&Uだより

safety & useful 発行 No330

2025年5月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

4月はとんでもない値上げラッシュとなりました。ただでさえ コメが例年の倍近くなり 政府備蓄米の排出も 機を逸したのか一向に下がる気配もなく 野菜やすべての食品が値上がりしました。電気料 燃料代 生活を直撃しているところに 飛び込んできたのは「トランプ関税」です。4月2日 トランプ大統領が演説で示した主な国や地域に対する相互関税の税率は次のとおりです。中国が34%、EU=ヨーロッパ連合が20%、台湾が32%、日本が24%、インドが26%、韓国が25%、インドネシアが32%、カンボジアが49%、ベトナムが46%、タイが36%、マレーシアが24%、スイスが31%、イギリスが10%、トルコが10%、エジプトが10%、サウジアラビアが10%、UAE=アラブ首長国連邦が10%などとなっています。トランプ大統領としてはこうした強力な関税措置によって貿易赤字解消につなげ、製造業を復活させたいと考えています。これだけの強力な措置をとれば短期的には貿易赤字は縮小するかもしれませんが、ただ、その後の経済に深刻な打撃を与えるという見方は強いです。国や地域ごとに異なる税率を上乗せする形で設定し、日本については24%の関税を課すことを明らかにしました。この理由として、アメリカにとっての非関税障壁を考慮すると、日本はアメリカに対して46%の関税を課していることに相当するためだとしています。欧米メディアはアメリカの金融大手ゴールドマン・サックスが演説の前に出した試算をとりあげ、アメリカが今後12か月間で景気後退に陥る確率を20%から35%に引き上げた大きく報じました。きょうの発表はこの試算の前提をはるかに超えていて、実際の経済見通しはもっと悪化するとみられます。今後どう展開していくのか 不透明ではありますが 好循環の流れを本格化させたい日本経済に大きな打撃となり、専門家からは「その成長力が帳消しになるほどのダメージだ」「過去のリーマンショックなどに匹敵するのではないか」といった見方も出ています。

まだ 対外の火事が自分のところに飛び火するかもしれないアメリカは このまま「素晴らしい措置だ」と受け入れてばかりいられないのではないかとと思われ まだまだ二転三転の トランプ大統領の言動に目が離せない状況です。値上がりの無いものが見当たらない中 20年以上変わらないのは「マルジンのモノレール工事単価」です。

モノレールの資機材、人件費、諸雑費に含まれるものろもろの機材価格など 何回も値上がりが続けてきました。近年ですら 公共工事設計労務単価は R5年 3月から「前年度比べ5.2%」、R6年 3月から「前年度比べ5.9%」引き上げられ 必要な法定福利費相当額を加えるように記載されています。また今年度も上がっていくものと思え早い県では7年度の単価もネット上に出ていますし 私たちの業種に準ずる「山林砂防工」の労務単価は値上がりしているようです。マルジンも社員の給与は毎年 できるだけではありますが賃上げしてきております。現在、お陰様で たくさんのご依頼をいただき 人手不足の中にあっても 段取り隊長の機敏な対応で 日々忙しく仕事に当たらせていただいております。ホワイトカラーではない敬遠される仕事ですが 若い人が定着してもらえるように 今できる賃金や 育児休業などの福利厚生にも取り組んではいますが 天候や 気候の変化にも立ち向かっていかなければならない過酷な仕事でもあり 現場が県外の事も多く 家長が留守がちになると ご家族にもご負担をかけることも多く 敬遠されがちな仕事でもあります。まあ 今年の新入社員の動向のニュースでは せっかく入社した大手の企業であっても 2週間で就職先に見切りをつけ 自分で人事に伝えるでなく「退職代行」会社から退社の意向を伝えたり LINE で連絡したり 人事部を悩ませる事が多いようです。大企業のホワイトカラーでも『仕事以外の時間の確保』『残業はどれくらい?』『趣味のために半休が取れるか?』などが優先される新人たちに 頭が痛いとか・・・いずこも大変な時代になったものです。マルジンの仕事の大半も「AI」には こなせない身体を使う仕事でありますので「よく働き よく休める」そんな 充実感のある職場として今後も繋げていけるようにしていきたいものです。

「世の流れに準じた値上げ」で モノレールの仕事に携わる皆が 少しでも『仕事以外の時間の充実』ができるよう工夫したいですし なによりお客様に喜んでいただき「代金に見合う それ以上の満足感ある」仕事を心掛けてまいりたいと思次第でございます。モノレール工業協会の歩掛「モノレールレンタル料(賃料)の一覧表(モノレール工業協会編)」も 4月大きく改訂しております。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

マルジン 5月のカレンダー							<~モノレール賃料一覧(工業協会編)>
日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	積算時にご注意を！R7年4月 改訂しております。ご入用の際は マルジンまでご連絡ください。 モノレール架設（積算）工事費の値上げ！
4	5		9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				

2025年5月第330回は～モノレール工事の諸経費・諸雑費～について

「マルジンさんの見積の諸経費って何が含まれているの？」というお問い合わせをいただきました。土木等の工事の諸経費は以下とされています。

共通仮設費：建設機械の運搬費、準備費、

事業損出防止施設費、安全費等

現場管理費：工事現場の作業所等で発生する費用

(現場作業所の家賃、電気代、電話代等)

一般管理費：製造や販売の現業部門ではなく、総務や人事、経理といった一般管理部門の費用。費目としては役員や事務員の給料・手当、減価償却費、地代・家賃、事務用消耗品費、通信交通費、保険料、交際費など

測量・調査・土木工事等の「標準歩掛」は毎年改訂され業務原価に占める一般管理費等の割合が改訂されどの業務においてもほぼ諸経費率が上がっております。

まず工事原価というのがあって、これは直接工事費と間接工事費の合計です。

直接工事費は材料費と労務費、直接経費の合計で、材料費と労務費は設計図面からの積み上げ、直接経費は特許使用料や水道光熱費、機械経費など工事を行う上で直接必要とする経費のことです。

間接工事費は共通仮設費と現場管理費の合計で、各部門の工事に際して共通で必要とされる経費のことです。共通仮設費は、運搬費(建設機械の運搬・自走、仮設材の運搬など)、準備費(工事のための準備、後片付け、測量など)、仮設費(資材置き場やプラント設置場所の為の費用、各種供給設備費、仮設道路の設置など)、役務費(仮設および資材置き場の借地費用、電力や用水の基本料金)、技術管理費(品質管理、出来高管理、工程管理等に必要費用)、営繕損料(現場事務所、労務者宿舍、倉庫などの損料)、労務者輸送費、安全費、環境対策費などの合計です。この中には直接工事費、もしくは純工事費によって基本的な経費率が定められているものや、該当する経費を積み上げるものがあります。尚、純工事費とは直接工事費に技術管理費を加えたものです。

現場管理費は工事を行う上で必要とされる現場経費で、労務管理費、地代、家賃、水道光熱費、運賃、消耗品費、通信運搬費などです。通常、現場管理費は純工事費に応じた現場管理費率により算定されますが、このとき純工事費は特殊材料費の1/2が減額された額を用います。この特殊製品とは、コンクリートブロック、コンクリート製板及び鋼板、矢板管及び弁類、ポンプ、発電機、コンプレッサー、発電機、変圧器など、完成された製品として設置することで水道施設として効用を発揮するもので、工事現場における施工度が少ないもの、とされています。一般的には水道用の管材などもこれに含まれます。

工事原価と一般管理費の合計が工事価格で、一般管理費は諸給与や福利厚生費、事務用品費、保険料などです。一般管理費は工事原価により率が決まります。

工事価格に消費税相当額を加えたのが工事費です。マルジンはほとんどの現場が元請ではなく仕事の一部分「共通仮設費(モノレールのレンタルと敷設工

事)」を担っております。

諸経費の内一般管理費を除く「共通仮設費」「現場管理費」を諸雑費とし一般管理費と合わせたものを諸経費とさせていただきます。

「諸雑費」とは工事に必要な工具、レール部材運搬用モノレール及び油脂等消耗品の費用などをいいます

敷設用 本機・台車	20A/25A支柱	三つまたクランプ
本機吊り下げ金具	ハンマー	燃料&燃料缶
トンパック	鍬・ツルハシ・スコップ	スタッフ
シヤ棒、受け枠	打ち込み金具	親綱・ロープ・安全帯
インパクレッチ	ラックゲージ・シヤコマン	安全柵・合板
ジャッキ・レバークロック	工具箱(工具)	Aバリ・バリロン&トラバー
発電機	配線用ビニールテープ	角度計、水盤
コードリール	配線用バンド	救急セット・エビハン
エンジンカッター&替刃	パイカッター・パイレン	虫よけスプレー・線香
チェーン&オイル	番線カッター	防護カネ・スネード
刈払機&替刃&オイル	ブルーシート	環境保全 吸殻入
立木ロープ・結束ひも	カメラ	消火器
脚立・梯子	黒板	土嚢袋
ハンマドリル&替刃	耐水チョーク	温度湿度時計
クランプ	立看板	バラル・簡易テント
スリグベルト・ワイヤ	単管	他現場に合わせ

モノレール敷設レンタルの価格は「工事代金+ご利用になるレンタル期間に応じた賃料」となりますが、お渡しするまで及び撤収の敷設工事で使用するモノレールの上記費用を諸雑費と計上させていただきますこととしております。特に支柱等は地形の地中状況に合わせカットする、また返納時にカットする事などあり廃棄やむなしの費用が発生する事が多いです。

こちらをモノレールのような仮設費に諸経費として設計時に計上できない場合に諸雑費という言葉を使わせていただきます。率としてはモノレール本工事全体に係る20%を計上させていただきます。

実際には現場工事費用ではありません。

開発も営業も事務も仕事をしている訳ですからその分の一般管理費用は諸雑費にプラスした形で諸経費として計上させていただきます。

モノレール業務の諸経費率の積算基準は記載されておきませんが労務単価は「山林砂防工」に準ずる金額として積算書類にも記載されるようになってまいりました関係上、「砂防・地すべり等工事」と同等と考えるならば2025年現在(設計金額500~2000万未満)

一括諸経費率 全体工事代金の110%(金額で変動有)

共通仮設	現場管理	一般管理
18%	55%	37%

ということです。110%頂戴できる事は今後も無いと思いますがマルジンの諸経費はモノレール敷設本工事全体でなく人工工事代金に対する30%を計上させていただきます。

今の諸経費率が高いのか低いのか?それは今後も多くの現場を完工させたいと元を常に検証していきたいと思ひますし、頂戴する工事代金を適正だ、もしくは「代金以上の働き」とお客様に認めていただけるような仕事をしていきたいと思ひます。

今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。